



日本組織培養学会

会員通信

第133号

平成 27年 1月 5日

発行者

* 森 一憲 (昭和大学)

* 責任者連絡先

〒142-8555

品川区旗の台1-5-8

昭和大学 薬学部 生体分子薬学講座

腫瘍細胞生物学部門

TEL: 03-3784-8209

E-mail: mori@pharm.showa-u.ac.jp

目次

1. 年頭のご挨拶	2
2. 日本組織培養学会 第88回大会 (平成27年)のお知らせ	2
3. 第88回大会 奨励賞申請と発表について	5
Young Investigator Award (YIA), Application and Presentation	
4. English Presentation Award (EPA) 選考規定、および応募案内	7
5. 組織培養研究 (TCRC) 投稿規定の改訂	7
6. 委員会報告	8
教育研究システム委員会報告	8
テクニカルアーカイブ委員会報告	8

1. 年頭のご挨拶

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年9月、iPS 細胞から作成した網膜色素上皮細胞シートを加齢黄斑変性の患者に移植する手術が実施されました。まずは安全性確認のための臨床研究段階ではありますが、ES/iPS 細胞のような長期培養細胞を臨床(人間)に応用するという大きな一歩を日本でも踏み出したこととなります。そのような状況下、「細胞培養技術の標準化」の重要性が今まで以上にクローズアップされています。本学会は、いち早くその重要性を認識し、「細胞培養基盤技術コース制度」を確立してきました。その活動内容は、日本再生医療学会等でも高く評価され、昨年は日本再生医療学会との連携協力体制も構築しました。「細胞培養基盤技術コース制度」の運用のためにご尽力を頂いている会員の先生方のご貢献に対し、改めまして感謝を申し上げます。

培養細胞の臨床応用が大きな脚光を浴びる一方で、培養細胞を用いた研究が、がん研究等の基礎研究分野で今後も必要不可欠なものであることには変わりはありません。それに関わらず、マイコプラズマ汚染や誤認細胞に対する認識が未だに不十分である現状は憂えるべき事態です。そこで、本学会では、昨年度より「細胞品質管理等普及委員会」を発足し、誤認細胞検索のためのデータベース構築に取り組み、本年度(昨年春)その公開を行いました。

昨年の大会は、農業生物資源研究所の竹澤俊明先生のご尽力により、「実用化を指向した先端培養技術」をテーマとして、東京の中心地「星陵会館」で開催され、たいへん盛り多い大会となりました。本年の大会は、広島大学の二川浩樹先生に大会長をお引き受け頂いており、テーマは「臨床のための細胞培養」です。また、本年の大会より新たに、English Presentation Award (EPA)も設置しました。学会のそして会員の皆様の国際貢献に寄与する一助になるものと期待しております。広島大会での皆様との再会を楽しみにしております。

皆様のご研究の益々のご発展をお祈りして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

本年も宜しく願い申し上げます。

平成 27 年 1 月 会長 中村幸夫

2. 日本組織培養学会 第 88 回大会 (平成 27 年)のお知らせ

ご挨拶

このたび日本組織培養学会第 88 回大会を、広仁会館(広島市南区霞 広島大学霞キャンパス内)において平成 27 年 5 月 26 日(火)、27 日(水)の 2 日間の日程で開催する運びとなりました。

第 88 回大会では「臨床のための細胞培養」をテーマとし、歯科の事例が中心となると思いますが、再生医療など視野に入れた培養技術などにつきまして臨床や医療という観点から今後どのような展開が期待されるか、あるいはどのような人材が必要とされるかなどにつきましてディスカッションしていただければと思っています。本大会では、臨床と細胞培養という観点から特別講演、シン

ポジウム、細胞培養指導者講習会を行いたいと思っておりますし、また、奨励賞対象演題、一般講演(口演発表・ポスター発表)も予定させて頂いております。

現在の歯科医療では、虫歯に罹患すると、歯には自己修復能が無いために虫歯の部分を削って、金属あるいは樹脂を詰めるという置換医療が行われています。しかしながら、将来、歯科医療でも再生医療が必要となる時代が来ると確信し、広島大学歯学部では、2008年より本学会の細胞培養実習を正課として取り入れさせて頂いております。このような背景から、研究色だけでなく人材育成という教育という観点からも本学会を楽しんでいただければと思います。

現在鋭意準備中ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

大会長 広島大学 二川 浩樹

大会概要

- 大会長 : 二川 浩樹 (広島大学)
- テーマ : 臨床のための細胞培養
- 会期 : 平成 27 年 5 月 26 日(火)・27 日(水)
- 会場 : 広島大学 霞キャンパス内 広仁会館 (広島市南区1-2-3)
- 特別講演 : 飛田 護邦 (厚生労働省)
古江—楠田 美保 (独立行政法人医薬基盤研究所)
- シンポジスト : 江草 宏 (東北大学)、加藤 功一 (広島大学)、加治屋 幹人 (広島大学)、
嶋本 顕 (広島大学)、宿南 知佐 (広島大学)、田原 栄俊 (広島大学)
- その他 : 一般講演、English presentation awards、若手奨励賞、総会等
- 大会ホームページ <http://jtca.umin.jp/meet/y2015/index.html>
- 広仁会館(会場)ホームページ <http://www.koujin-med.jp/contents/info.html>
- 会場アクセス <http://www.koujin-med.jp/contents/application.html#map01>

大会スケジュール

	5 月 25 日(月)	5 月 26 日(火)	5 月 27 日(水)
午前		奨励賞対象演題 シンポジウム1	シンポジウム2 一般演題3 ポスター発表
昼食		ランチョンセミナー	細胞培養指導者講習会
午後	幹事会	ポスター発表 English presentation awards 一般演題1 一般演題2 特別講演1	総会 特別講演2 一般演題4
夕方		懇親会	

一般演題・奨励賞対象演題募集

演題登録は『仮登録』と『本登録』の二段階からなります。演題登録の受付期間は以下の通りです。

大会ホームページ (<http://jtca.umin.jp/meet/y2015/index.html>) よりご応募願います。

仮登録期間 : 2015年1月13日(火) ~ 2月3日(火)

本登録期間 : 2015年2月17日(火) ~ 3月10日(火) ※締切厳守でお願いします。

また、奨励賞対象演題に応募される場合は、所定の申請書類を2015年1月31日(土)までに提出(郵送)して下さい。詳しくはホームページでご確認ください。

学会ホームページ(奨励賞に関する案内) http://jtca.umin.jp/shourei/shourei_index.html

参加費・事前登録

	会員種別	大会参加費	懇親会参加費
事前登録	一般会員	6,000円	4,000円
	学生会員	3,000円	3,000円
	非会員	7,000円	5,000円
	学生非会員	4,000円	4,000円
当日登録	一般会員	7,000円	一律5,000円
	学生会員	4,000円	
	非会員	10,000円	
	学生非会員	5,000円	
	名誉会員	全額無料	

- ・一般会員および学生会員には、日本動物実験代替法学会会員および学生会員も含まれます。
- ・事前登録は4月30日(木)までに、同封の振替用紙、もしくは大会ホームページにご用意した雛形を模して、下記までお振込ください。

金融機関: ゆうちょ銀行

店名: 一三九 (読み方=イチサンキュウ)

店番: 139

預金種目: 当座

口座番号: 0103585

口座名: 日本組織培養学会第88回大会実行委員会

- ・参加登録証、並びに領収証の印刷発行を自動化するため、オンライン参加証発行フォームを作成しました(2月オープン予定)。参加費を振込まれた方は、第88回大会ホームページ(<http://jtca.umin.jp/meet/y2015/index.html>)の「参加登録」ページから、振込時と同じ内容をご入力いただきますようお願いいたします。また、当日登録料金とはなりますが、参加者登録をして頂きますと、当日受付を簡素化できますので、よろしくご協力願います。
- ・なお、登録方法の詳細は大会ホームページ「事前参加登録サイト」でご確認ください。

大会事務局

広島大学大学院 医歯薬保健学研究院 総合健康学科部門 口腔生物工学 二川研究室

〒734-8551 広島県南区霞 1-2-3

TEL & FAX: (082) 257-5097

E-mail: jtca88th@gmail.com

3. 第 88 回大会 奨励賞申請と発表について

教育・奨励賞担当幹事 絵野沢 伸

1. 申請資格

- ・ 申請時に日本組織培養学会の会員であること。
- ・ 2015年4月1日現在で40歳以下であること。
- ・ 今大会にて発表する奨励賞応募演題の筆頭発表者であること。
- ・ 日本組織培養学会 奨励賞を未受賞であること。

2. 発表形式

今後、ウェブサイトの大会ホームページにて詳細をご案内いたします。なお、前回大会においては、口演(発表7分、質疑応答5分)に加え、ポスター展示を行っていただきました。

3. 受賞者の皆様へのお願い

受賞者は以下の学会活動へのご協力をお願いします。

- (1) 会員通信へ「受賞の感想」を寄稿する。
- (2) 受賞題名に関連する論文(原著、または総説)を本学会機関誌(Tissue Culture Research Communications)に投稿する。

4. 応募方法

申請用紙を本学会ホームページよりダウンロードしてご記入ください。申請書類には、本学会評議員の推薦状が含まれます。申請書類を「6.問い合わせおよび申請書類送付先」宛てに書留など配送記録が残る方法で送付し、演題登録許可を得てください。その後、大会ホームページから演題抄録の登録を行っていただきます。

申請用紙ダウンロードURL: http://jtca.umin.jp/shourei/YIA-ApplicationForm_2015.doc

5. 応募〆切

2015年1月31日(土)

※演題登録許可の取得前にオンライン抄録登録は行わないようお願いいたします。

6. 問い合わせおよび申請書類送付先

〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1

国立成育医療研究センター 研究所

先端医療開発室 絵野沢 伸

電話 03-5494-8163 (直通)

FAX 03-3417-2864

e-mail: enosawa-s@ncchd.go.jp / jtca88th@gmail.com (総合窓口)

Young Investigator Award (YIA), Application and Presentation

1. Applicants must meet the following criteria

- Be the member of "Japanese Tissue Culture Association".
- Be equal to or less than 40-year-old on April 1, 2015.
- Be the first author of presentation of title applied for young investigator award.
- Did not receive "Young Investigator Award of Japanese Tissue Culture Association" previously.

2. Presentation

The style of presentation will be announced in the "The 88th Annual Meeting Website". For reference, the style of presentation is usually the 12-min oral presentation including 5-min discussion and the poster display.

3. Awardees are requested;

(1) to submit the comments of impression for getting the Young Investigator Award to News Letter of Japanese Tissue Culture Association soon after the Annual Meeting, and (2) to submit the paper (regular articles or review articles) to "Tissue Culture Research Communications" by the consistent title applied to Young Investigator Award after the Annual Meeting.

4. Application

You can download the application form from JCTA website. Please fill the form and apply to the below address by registered mail. Please keep in mind that this form includes the testimonial written by councilor of Japanese Tissue Culture Association. After the acceptance and approval of application, you will be requested to submit the abstract through online registration in the Annual Meeting website.

Download the application form; http://jtca.umin.jp/shourei/YIA-ApplicationForm_2015.doc

5. Deadline of application.

January 31, 2015

Please do NOT submit to online registration BEFORE the approval of application by YIA office.

6. Address.

Inquiry and an application form to:

Shin Enosawa

Division for Advanced Medical Sciences

National Center for Child Health & Development

2-10-1 Ookura, Setagaya-ku, Tokyo 157-8535, JAPAN

Tel; 03-5494-8163

Fax; 03-3417-2864

e-mail: enosawa-s@ncchd.go.jp

jtca88th@gmail.com (The official mail address of JTCA)

4. English Presentation Award (EPA) 規定、ならびに応募案内

2014年の幹事会で設置が承認されましたEnglish Presentation Award (EPA) について、選考規定を作成し、本学会ホームページ (URL: http://jtca.umin.jp/EPA/EPA_index_88.html) にて公開致しました。なお、本規定は2015年広島大会より運営致します。EPA対象演題に応募される場合は、選考規定をご一読の上、大会ホームページからご応募願います。

※EPAに関する問合せ先は奨励賞と同じです。

5. 組織培養研究 (TCRC) 投稿規定改訂

本学会機関誌『組織培養研究 (TCRC)』に投稿される総説・原著論文等については、J-STAGE インターネットジャーナルサービスにて電子媒体として公開するようになりました。それに伴い、投稿規定を一部改訂し、電子投稿するように移行いたしました。詳しくは本学会ホームページ内、機関誌「組織培養研究」に掲載しておりますので、ご確認ください。

※論文投稿規定: http://jtca.umin.jp/TCRC/tcrc_instruction_2014.pdf

6. 委員会報告

教育研究システム委員会報告

教育研究システム委員会

委員長 片岡 健

日頃より日本組織培養学会教育研究システム委員会の活動へのご理解・ご協力いただきありがとうございます。
とうございます。

今年度は新たな試みとして「培養指導士講習会」を平成 26 年 8 月 30 日・31 日に開催しました。2日間で 35 名(教育研究システム委員会メンバーを含む)の会員にご参加いただき、細胞培養基盤技術コースIIについてデモを交えて指導内容の再確認を行いました。また当日の講義およびデモはテクニカルアーカイブ委員会と連携して録画を行い、現在浅香勲委員が編集作業を進めております。

また教育研究システム委員会では、細胞培養基盤技術コース(いわゆる培養講習会)開催手順の見直し作業を進めております。この基盤技術コースをさらに充実するためにも、ご意見がございましたら是非とも片岡まで(kenk@dls.ous.ac.jp)お聞かせください。

今後とも会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

テクニカルアーカイブ委員会

テクニカルアーカイブ委員会委員長

浅香 勲

テクニカルアーカイブ委員会は、2014 年 8 月末に教育研究システム委員会が実施した「日本組織培養学会指導士講習会」において、教育研究システム委員会と共同で細胞培養士や細胞培養指導士の教育用のビデオを作成する目的で、講習会中実施された基本操作の実技や、講習内容をビデオ撮影しました。現在編集作業を継続中で、編集終了後のビデオは教育研究システム委員会委員長に提出する予定です。